

「バイオセラミックスってなあに？」 吉松宏泰

吉松宏泰

吉松歯科医院

2002年 東京都港区開業

2015年 International EndoMasters 2015 講演 “Clinical Bioceramic Cases”

今回は、バイオセラミックスについて国内外の商品を含めて説明する。

近年 MTA から波及した製品が開発され、商品化されて来ている。

そのことから MTA を第一世代のバイオセラミックス（ケイ酸カルシウムセメント）という人も出てきた。

MTA は、天然のミネラルを含んだ製品であるが、天然のミネラルを含まない清潔な実験室で作られたバイオセラミックスも次々に実用化されている。

先ず 2007 年 Verio Dental 社から BioAggregate として発売された。これは、粉と液を混ぜ合わせるタイプであるが、粒子のサイズがナノサイズの純粋なケイ酸カルシウムセメントである。

更に 2009 年頃、BioAggregate を利用したシーラー、プレミックスタイプ、パテタイプが発売された。

また、同じ商品が O.E.M.によりアメリカでは、Brassler USA 社より

EndoSequence BC sealer, EndoSequence Root Repair Putty (RRM) として、中東からヨーロッパでは、FKG 社より TotalFill BC, TotalFill Material for root repair (RRM) として発売されている。

2015 年には、Verio Dental 社の開発スタッフが Vericom 社に移り、Well-Root ST を発売した。

私は、MTA を発売当初より試行錯誤しながら臨床に取り入れ、現在は、Well-Root ST と BioAggregate を臨床応用している。

日々の臨床で筆者が、どのように考え、バイオセラミックスを用いているか、症例を通じてお伝えしたい。